

# 富山大学アーカイブズ・ニュースレター

—(新)富山大学設立10周年記念展に向けて—

ARCHIVES NEWS LETTER

2015.3.25 第2号

## (新)富山大学設立10周年記念展に向けて！

—関連資料の調査への協力についてのお願い—

アーカイブズ担当学長補佐 立川 健治 (人文学部)

今年の10月1日で、(旧)富山大学、富山医科薬科大学、高岡短期大学を再編・統合し、新たな富山大学が設立されて10年を迎えます。

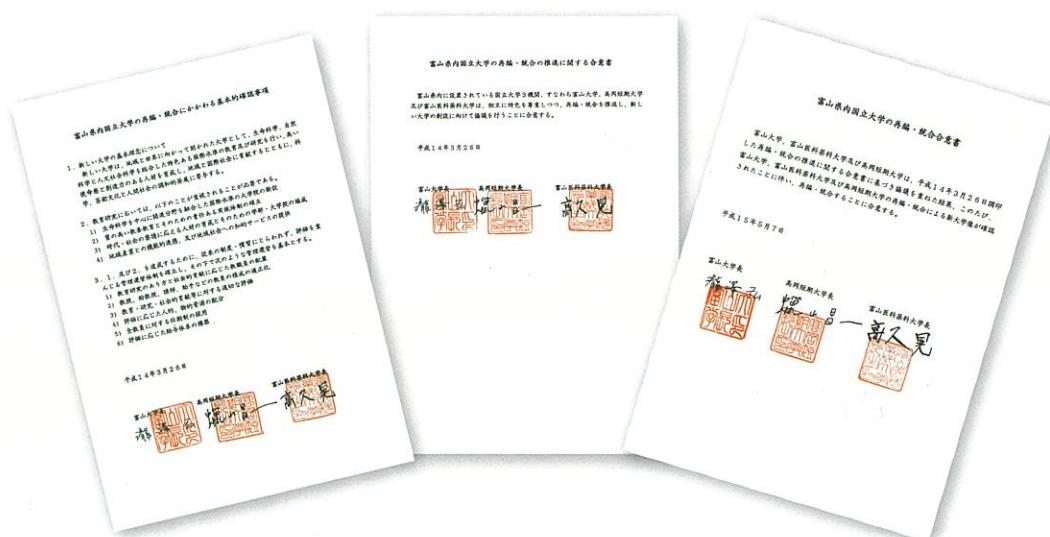
現在、私たちは、その記念事業の一環として、「(新)富山大学設立10周年記念展(仮称)」の開催、「目で見る(新)富山大学の10年(仮称)」の編纂・刊行に向けての準備を進めています。

再編・統合に向けての協議が始まった2001年9月から現在にいたるまでの歩みを振り返り、富山大学の明日を描くために資することができるようなものにしていきたいと考えています。

さらにはそれに加えて、社会に向けて富山大学が果している役割を説明していくものにしたいと考えています。

そして将来、編纂されるであろう(新)富山大学の年史の資料調査・収集の予備的作業にもなればと考えています。

4月以降、全学的に、この「(新)富山大学設立10周年記念展(仮称)」の開催、「目で見る(新)富山大学の10年(仮称)」の編纂・刊行に向けての関連資料、とりわけ2001年以降の再編・統合、2005年10月設立後の新大学の教育及び管理運営に関する各種の会議、WG等のメモ類を含む資料の調査に対する協力要請を行う予定しておりますが、この場を借りて、あらかじめ協力ををお願いしておきたいと思います。



「富山県内国立大学の再編・統合に関する合意文書」(2002年3月26日付)

## 「資料紹介」

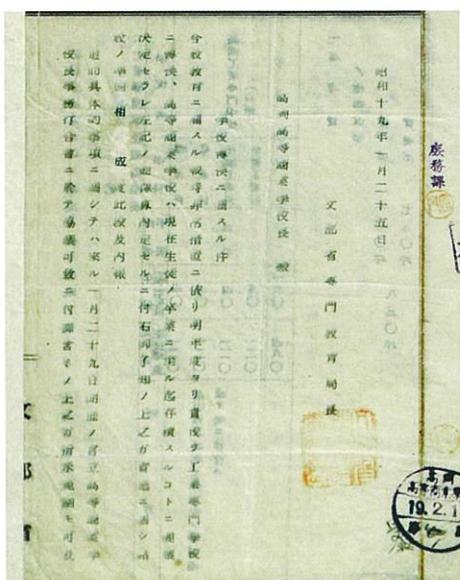
立川 健治

第三回大学展（2014年3月27日から5月24日）では、その特別企画展として、富山大学の前身校の「学徒出陣」の関連資料を展示しました。その中の2点をここに紹介しておきます

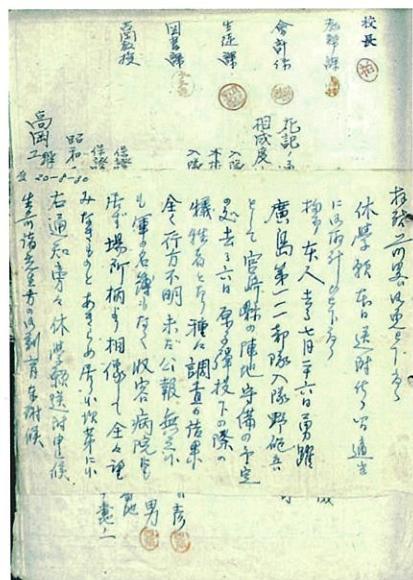
政府は、戦争遂行のために、文系の高等教育機関の縮小、理工系の拡充に着手、その一環として1944（昭和19）年1月、いくつかの高等商業学校の工業専門学校への転換を決定、高岡高等商業学校（現・経済学部）もその対象となりました。

\*1は、1944（昭和19）年1月25日付で同校を高岡工業専門学校に転換すると通達した「文部省専門教育局長から高岡高等商業学校長宛学校転換に関する件」。

\*2は、高岡工業専門学校生が1945（昭和20）年7月広島の部隊に入隊、8月6日原爆により死亡した可能性が高く「全々望みなきものとあきらめ」といるが、その通知旁々同校に提出された休学願。



\*1



\*2

## 「旧制富山高等学校同窓会所蔵資料の受領について」

立川 健治

2013年旧制富山高等学校同窓会は解散いたしましたが、人文学部同窓会を通して、同会が所蔵していた関連資料の取り扱いについての相談を受けました。富山大学では、将来のアーカイブズ設置に向けて準備を進めていますが、その関連資料をその準備の一環として預かり、その活用につとめることが最適と判断、2013年11月、旧制富山高校及び同窓会に関する73品目の資料の譲渡を受けました。

そして第三回富山大学展（2014年3月27日～5月24日）に、その一部（制帽、外套、高下駄等）を展示し、好評を博しました。その大学展の開催中の5月20日、人文学部同窓会、人文学部のご協力も得て、旧制富高同窓会の諸先輩を大学にお迎えし、展示を見ていただくとともに、資料の受領式を行い、あわせて懇親会を開きました。旧制富校同窓会から受領した資料については、保存とともに、今後もその活用をはかっていく予定しております。



関連資料展示を見る旧制富校同窓会の諸先輩



懇親会

# 富大関連史跡探訪(1)：「勤労報国記念之碑」について

総務部アーカイブズ担当 辻澤 良夫

高岡経済専門学校（注）が、太平洋戦争末期、当時の長崎太郎校長が発案、学徒受け入れ工場等の協力を受けて建碑した「勤労報国記念之碑」が所在不明となっています。

この碑は、「運動場の西端の勤労スロープに建碑」されており（『高岡高等商業学校史』高岡経済専門学校、1945（昭和20）年4月1日刊）、当時の校舎等の配置図を参照すると、現・富山県立高岡高等学校グランド隅に建てられていました。

そこで現地に赴き、惣元高岡高校事務部長の案内により通称ポンポン山と呼ばれているスロープ跡周辺を探しましたが、石碑は見当たりませんでした。しかし、勤労スロープ跡と思われる場所で一部破壊されたコンクリートの台座状の跡（写真参照）を発見したことから、惣元事務部長に施工の有無について聞いたところ高岡高校の施工ではないと思われるとのことでした。

「勤労報国記念之碑」は、校舎から見通しのよい場所に建てられ、学生の勤労奉仕への士気を鼓舞する役割も果していましたが、そのために敗戦後、撤去あるいは破毀され所在不明になってしまったと考えられます。

この碑のその後についての情報をご存知の方がいらっしゃれば、ご教示ください。



勤労報國記念之碑（文字は生徒代表の揮毫）  
(昭和19年9月、高商校庭西北隅の勤労スロープ状に建立)



スロープ上のコンクリート台座と思われる跡

注：1944（昭和19）年3月、高岡高等商業学校は高岡工業専門学校に転換、それに伴い高岡高商は、在校生が卒業するまで高岡経済専門学校と改称され存続した。

## ◎ 2014年度業務日誌（抄）（2014年4月～2015年2月）

2014年	
4月 14日	総務部と富山大学アーカイブズ設置準備室に係る意見交換 富山大学同窓会役員との意見交換
4月 16日	旧制富山高等学校OB清水昌夫氏から旧制富山高等学校制帽を受領
4月 25日	富山大学アーカイブズ設置準備室に係る総務グループ長との打ち合わせ
5月 1日	本学名誉教授桂木健次氏との富山大学アーカイブズ設置準備室に係る意見交換
5月 15日	富山第一高等学校生徒に対する大学展の案内
5月 20日	旧制富山高校同窓会所蔵資料譲渡式 旧制富山高校同窓会及び人文学部同窓会学内展見学、懇談会
5月 22日	ビジョン21 富山大学ヒストリアに係る資料撮影
5月 25日	第三回大学展終了（3月27日～） *翌日展示物等片付け
5月 27日	学外者の資料閲覧（富山師範関係）立ち会い
5月 29日	初代黒田講堂落成記念文鎮受領

6月10日	事務局倉庫（学務部、施設部）調査
6月11日	附属図書館閉架書庫（富山師範、旧制富山高校）調査
6月13日	広瀬理事と第3期中期目標設定（アーカイブズ設置検討）及び新富山大学設置10周年記念事業についての打ち合わせ
6月18日	三大学統合に関する資料調査（高岡キャンパス、総務グループ、企画評議会グループ）
6月23日	ホームカミングデーに関する打合せ
7月7日	高岡キャンパス資料調査（県内三大学再編・統合関係、新大学創設準備推進委員会）
7月22日	旧制富山高等学校OB遺族から旧制富山高等学校関係絵葉書を受領
8月5日	事務局倉庫（総務部）調査、北日本新聞高嶋記者（旧制富山 崔定律）について
9月1日	アーカイブズ設置準備室内における前身校文書等の展示開始
9月30日	新聞記事調査（富山県内三国立大学再編・統合関係）
10月8日	全国大学史資料研究協議会参加（桃山学院大学・大阪大学豊中キャンパス、辻澤、～9日）
10月15日	富山大学学開講、五福キャンパスでの三キャンパス合同授業の実施に向けてのパイロット的授業として隔週水曜日4・5限を5回実施、12月13日に前身校史跡・キャンパスツアーを実施
10月18日	富山大学ホームカミングデー・大学資料展示（附属中央図書館）
10月30日	県内三国立大学再編・統合時関係等の聞き取り調査
11月5日	立山マルチヴァース関係資料調査
12月25日	「嗚呼 玲瓏（蓮町時代の文理学部）」シナリオに基づいた音入れの完成 ＊「嗚呼 玲瓏」は、1962（昭和37）年、文理学部が五福キャンパスに移転するに伴い、1961年8月馬場はるさんを招いて蓮町キャンパス（現・馬場記念公園）で開かれた文理学部同窓会の様子を中心として作成された約25分の記録映像
<b>2015年</b>	
1月29日	総務課との10周年記念行事等に係る意見交換
2月3日	総務部関係文書倉庫調査（県内三国立大学再編・統合関係書類等）
2月19日	広瀬理事・総務部と第3期中期目標設定（アーカイブズ設置検討）について意見交換
2月24日	地域連携推進機構、総務部とエンジン01（3月28日開催）への協力について協議

### ●お願い

富山大学（富山師範学校、富山女子師範学校、富山青年師範学校、富山薬学専門学校、旧制富山高校、高岡高等商業専門学校、高岡工業専門学校、旧富山大学、富山医科大学、高岡短期大学）に関する様々な資料を収集することに向けて準備を進めています。ご寄贈もしくは貸与いただけるような富山大学の歴史に関する資料がございましたら、下記までご連絡いただければ幸いです。

アーカイブズ・ニュースレター 第2号 2015年3月25日発行

編集：アーカイブズ担当学長補佐 立川 健治（人文学部）

連絡先：tel:076-445-6187 e-mail:tatsukw@hmt.u-toyama.ac.jp